

「わかつちやいるけどやめられない」

一般内科におけるアルコール依存症への取り組み内科疾患=生活習慣病の大半は依存症?!

当院での地域医療研究は率先してアルコール依存症症例の主治医となり、アルコール専門医、断酒会などへの紹介・支持的面接法指導（動機付け面接など）を経て『自分の意思で酒を断たせること』を目指すものです。

本来これは精神科医療の現場で行うイメージがあるが、現実には厳しい。連続飲酒の患者が入院しても、救急医や内科医の行う断酒指導はたいていが『口頭指導』のみである。すなわち『精神科や断酒会に行ってください。これ以上飲むと死にます』。しかし言うだけで『意識変化』が起るはずもなく、患者自らの足で精神科に行くことは、まず、ない。結局再飲酒を繰り返して救急外来を大いに賑やかした揚句に悲惨な最期を迎えます。そのような無力感から、アルコール患者から、目をそらしたくなり、できれば受け持たない：臨床医であれば誰も経験する『あるある』ですね。

そこで私は『一般内科』である。当院から『アルコール専門医・断酒会』へのパイプを作りあげました。具体的には『（外来患者であり地域住民でもある）断酒会関係者に依頼して院内で直接患者と面談して参加を促していただく』ことと『研修医自らが患者を断酒会にクルマで引率、ついでに断酒会会員の壮絶な酒害・断酒体験告白を聴いて学習する』ことである。実はこのパイプ、日々の外来診療のなかで生まれ、た偶然の賜物でした。ある日の外来で私の受け持ち患者である断酒会会長であった方に語った愚痴から始まりました。『アルコールの患者さんに酒飲むな！断酒会に行けッ！と言っても聞きやしないんですよ』。断酒会会長であった方は言いました。『私に話をさせてください』。それができかけで、パイプが



我々医療者と酒害体験者の断酒会元会長では言葉の重みが違うのです！前向きになつた患者を連れて、私は初めて断酒会に参加しました。

内容は衝撃でした。同時に大いなる『成功体験』も得ました。悲惨極まりないソーゼツ『酒害告白』もさることながら、人が人でなくなるような肝性脳症や黄疸・腹水貯留をも伴う『重症肝硬変』にまで陥っていたアルコール患者が、断酒会によってここまで回復するとは！！

『アルコール依存症からの回復症例』を目的の当たりになること、やる気ができました。難攻不落の病へのアプローチ手段を得たのです！この『成功体験』によりアルコール問題とガチで向き合っている度胸がつきまじりました。以後、小さな歩みではありますが、少しずつ断酒に至るケースを重ねていくことができています。以上のアプローチ、すなわち『患者を全人的に捉え、地域一丸となつて問題解決を図る』という手段は、あらゆる疾患、あらゆる社会的困難への対応に通じるものであり、家庭医療の根幹に近いものとして信じています。

（内科医 犬尾 仁）

体制変更のお知らせ

下記の通り、診療体制に変更がございます。ご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご了承ください。

内 科：9月29日（水）～10月1日（金）与儀医師の診療は休診。
泌尿器科：9月11日（土）嘉手川医師の外来は9月18日（土）へ変更。
整形外科：10月11日（月）、11月8日（月）津田医師の診療は休診。

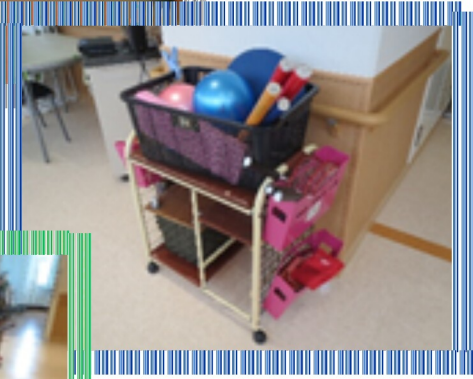
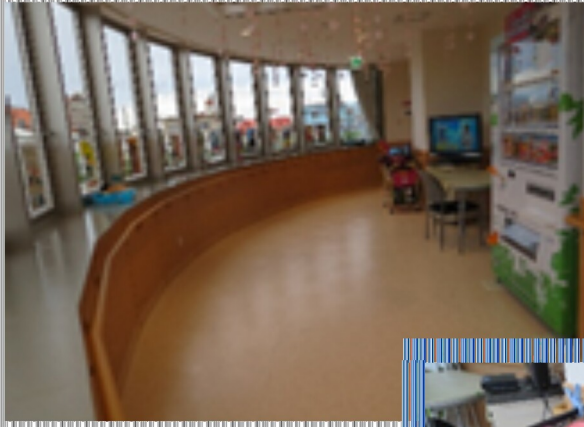


各部署のコロナ感染対策

リハビリ室感染予防対策

コロナ禍2年目を迎え、近況に合わせて感染予防対策も変わってきました。8月現在は、外来患者様リハビリと入院患者様のリハビリの実施場所を分けて行っています。外来リハは、患者様の体調・体温チェック後、2階リハビリ室で行っていただきます。使用後はベッド清拭・道具の消毒等行います。入院患者様のリハビリは、基本的には病棟でリハビリを行う事としていて、各病棟にリハビリスペースを設置しました。少しでも充実したりリハビリが提供出来る様、道具も増や

しました。リハビリ業務は患者様と直接接する時間が長く、距離も近いです。患者様もマスクを着用して頂き、患者様の安全安心を心がけています。職員も携帯用消毒液を持ち歩いて業務しており、いつでもどこでも手指衛生出来る様になりました。患者様には、何かとご不便な思いも多々あると思いますが、安心してリハビリが届けられるよう、私達も頑張つていきます。(リハビリ室 和宇慶美和子)



沖縄医療生協2021年度 つながり強化月間を推進していきましょー！

（スローガン）
 ◎コロナ禍を押し返すつながりを通して、沖縄医療生協の組織強化をすすめよう！
 ◎新とよみ生協病院建設を押し上げる4千人組合員、2億円出資金ふやしを達成しよう！
 （強化月間）
 2021年9月24日(金)～11月30日(火)
 今年度の強化月間もコロナ禍のもとで、組合員どうしのつながりを広げる全国四課題の前進、とくに事業計画を支える年間2億円の出資金を確保することをめざします。どんな情勢のもとでも、地域からの医療・介護要求に応え、頼れる沖縄医療生協をめざし、今秋のつながり強化月間を元気によく推進していきましょう。

中部ブロックおよび中部協同病院の獲得目標

＜出資金ふやし＞		[単位:口]	
	支部名	年間目標	到達状況(8/6時点)
うるまブロック	具志川北	640	115
	具志川南	600	50
	石川	200	20
	与勝	300	0
中部ブロック	沖縄がんじゅう	1,000	0
	沖縄市東南	1,040	41
	宜野湾	240	3
	読谷	200	12
	西原	200	103
	浦添きた	840	1
	浦添みなみ	840	1
	ちやたん	140	0
事業所	中部協同病院	25,000	5,198
	浦添協同クリニック	1,360	1,540

＜組合員ふやし＞		[単位:人]	
	支部名	年間目標	到達状況(8/6時点)
うるまブロック	具志川北	12	0
	具志川南	16	0
	石川	14	0
	与勝	12	0
中部ブロック	沖縄がんじゅう	14	0
	沖縄市東南	14	1
	宜野湾	18	0
	読谷	12	3
	西原	12	1
	浦添きた	10	0
	浦添みなみ	12	0
	ちやたん	16	0
事業所	中部協同病院	540	70
	浦添協同クリニック	70	1